

平成30年度岩手県支部総会開催報告

去る平成30年7月29日（日）、麻布大学岩手県支部総会並びに研修会を盛岡市の「ホテル東日本」にて開催され、盛会に終了しましたことをご報告いたします。

大学からは、衛生学第一研究室の河合一洋准教授にご臨席頂き、最近の大学の目覚ましい進化と、近年の傾向や将来性など、限られた時間のなか本当に楽しくご講演頂きました。学生が小動物へ偏る傾向があるなかで、産業動物臨床へ興味を示すものも少なくなく、河合先生が力を入れている様子がよくわかりました。大学を取り巻く環境の変化や本学の目指す姿など、参集者一同、大変興味深いお話を伺いました。

研修会は、動物応用科学科平成24年度卒の県振興局の高橋良乃会員より演題「飼養管理改善モデル実証による酪農生産性向上の取組」についてお話頂きました。若手酪農家2戸に現状を聞き取り、問題点を洗い出し、具体的な改善策を提案し効果を得たとの内容でした。BCSが低く採食量が低い例では、飲水量も低いことがわかり、ウォーターカップの配管を太くすることで、採食量が増加し、BCSも上昇し、疾病が減少し、乳量増加となったことなど実戦的な内容で、参考になりました。

本総会を日帰り型の総会にしてから4年目ですが、思った以上に参加者が伸びずいたことから、試みとして、昼食をメインとしたランチョン形式に取り組みました。結果、21名の参加者となり、事務局としてはうれしい数字となりました。新会員の登録が3名あり、すべての方の参加を頂きました。今後どのような形の開催がいいか、模索しながらではありますが、本同窓会がさらに盛り上がる様運営して参ります。以上、岩手県支部活動報告とさせていただきます。



文責：事務局

大野 千明 V 昭和 62 年卒